

旧洋館御休所の概要

旧洋館御休所は、天皇や皇族が新宿御苑(当時は新宿植物御苑)内の温室で植物を観賞する際の休憩所として明治29(1896)年に創建されました。建物は宮内省内匠寮(たくみりょう)により設計され、アメリカの住宅を中心に流行したスティック・スタイルを基調に建てられています。

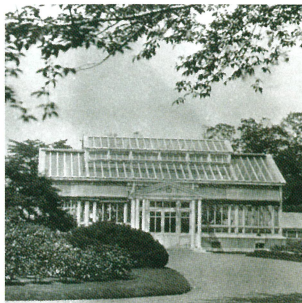
戦後は、長く管理事務所として使われましたが、歴史的・文化的価値の高い建物としての保存が決まり、平成13(2001)年、大正13年当時の姿に復元する保存改修工事が竣工しました。同年4月から一般公開が始まり、10月には重要文化財に指定されました。

皇族方と御休所

新宿御苑は、明治12(1879)年皇室の禁苑となりました。その17年後に創建された御休所の当初の利用は少なかったようです。皇族の来苑が増えるとともに4度にわたる増改築が行われ、大正後半からは主にテニスやゴルフなどのスポーツ後のクラブハウスとして使用されるようになりました。大正13(1924)年の増築によりほぼ現在の規模・仕様が整えられ、昭和初年にかけて利用のピークを迎えます。

昭和天皇は皇太子時代の大正10年代には、しばしば新宿御苑を訪れてゴルフを楽しまれましたが、ご成婚後は皇太子妃を伴って来苑されることが多かったようです。

昭和に入ると時勢の変化により皇族方の来苑も少なくなり、御休所も皇室と歩んだ歴史の幕を閉じることになりました。



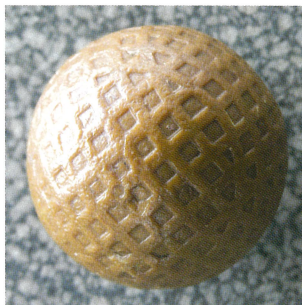
明治26(1893)年に建てられた温室

皇族方はラン、サボテン、など珍しい熱帯・亜熱帯の草木を楽しまれた。



温室遺構

現在の大温室を建設していたときに発掘された明治時代の温室の遺構(「E」の字形の温室の一番東側の基礎部分)。大温室横で見学可。



ゴルフボール

1987年度(昭和62年度)に行われた中の池の底にたまった土砂を取り除く工事で発見されたゴルフボール。大正時代の物。



昭和30年頃の旧洋館御休所管理事務所として使われていた。

新宿御苑サービスセンター

〒160-0014 東京都新宿区内藤町11

TEL. 03-3350-0151

FAX. 03-3350-1372

<http://fng.or.jp/shinjuku/>

<http://www.env.go.jp/garden/shinjukugyoen/index.html>



発行:



環境省 新宿御苑管理事務所



新宿御苑 きゅうよう かん ご きゅう しよ 旧洋館御休所のご案内



国指定重要文化財





旧洋館御休所 館内図



①旧御食堂

温室観賞の際の休憩所として利用が増えたため、お茶や昼餐(ちゅうさん)をとるスペースとして大正10(1921)年に設けられる。昼餐会・晩餐会もしばしば催され、その折には御苑で栽培された草花が卓上を彩った。



②建物正面

装飾のついた切り妻屋根、張り出した車寄せ、石敷きのベランダ、レース状の軒飾り、ガラス窓やガラス戸などに洋館の特徴が見られる。



③脇出入口

軒飾りのある丸庇(まるびさし)の屋根がついている。ガラス戸を開けると旧臣下控室で、臣下(侍従、侍従武官など)の出入口として利用されていた。



④旧調理室

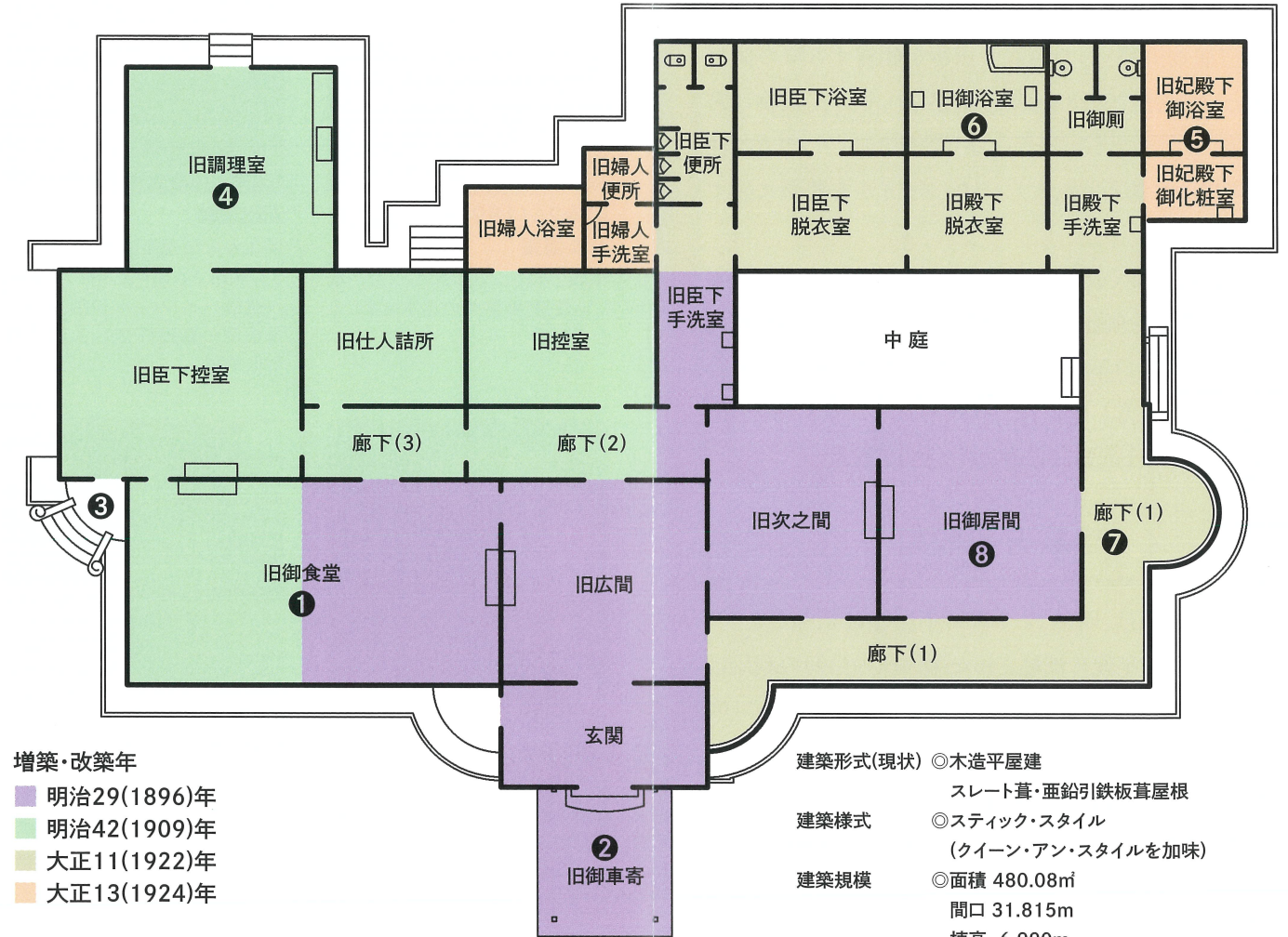
食堂とともに設けられたが、本格的な厨房施設はなく、料理は外部のレストランから取り寄せることが多かった。

⑤旧妃殿下御浴室・旧化粧室

大正13(1924)年、皇太子(後の昭和天皇)のご成婚に合わせ、随行の女官の浴室とともに増築される。

⑥旧御浴室

大正11(1922)年増築。当時のバスタブや照明などの器具類が残されている。増築に伴い、別棟でボイラー室が設けられ、浴室利用の際はボイラーマンが来苑して給湯に備えた。



⑦廊下

当初は温室へ向かう渡廊下へと続く外廊下だったが、浴室増築に伴い、通路が吹き放しでは都合が悪いため、ガラス戸をはめ込み、内廊下に改造された。



⑧旧御居間

洋風の室内に藤製の家具を置き、花鳥風月を描いた日本画や盆栽を飾るなど、和洋折衷のくつろいだ雰囲気が出されていた。

